

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400046	事業の開始年月日	平成18年8月1日	
		指定年月日	平成18年8月1日	
法人名	株式会社 ウィズネット			
事業所名	みんなの家・横浜瀬谷			
所在地	(〒246-0004) 神奈川県横浜市瀬谷区中屋敷2-6-15			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成27年9月30日	評価結果 市町村受理日	平成27年11月27日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域のボランティアの方々の演奏会・カラオケレクリエーションを実施しています。フロアや廊下に季節ごとのレイアウトをご利用者様と一緒に作成しています。看取り介護を支援させて頂き、研修を行っています。

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成27年10月28日	評価機関 評価決定日	平成27年11月24日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p><b>【事業所の優れている点】</b></p> <p>◇理念に基づくケアプラン作成と実施 「必要な人に必要なサービスの提供を」の理念に沿って、利用者・家族の意見や要望、医療情報などを考慮し、毎月カンファレンスで職員が話し合いケアプランを作成している。職員はケアプランを常に意識してケアにあたり、利用者の日常生活や体調面などの小さな変化も見逃さないように毎日の生活記録や利用者用ノートに記載し、情報を共有してサービスの実施にあたっている。</p> <p>◇利用者・家族間の途切れない関係づくりへの支援 2か月ごとに家族会を開催し、また、運営推進会議に家族が参加するなど、家族の協力を得て事業所運営に当たっている。入居後も利用者と家族との関係が途切れないように支援をしており、協力医療機関で受診した際の情報や、利用者の日常や行事の際の様子を「一言通信」に写真や手書きの一言を添えて家族に送っている。</p> <p><b>【事業所が工夫している点】</b></p> <p>◇徹底した薬の管理 誤薬を防ぐために薬を施錠管理し、キャビネットに大きな字で配薬手順や服薬の際の注意点を表記している。さらに利用者ごとの薬入れには、利用者の顔写真を張り大きな字で名前を記入して間違いを防止する工夫をしている。薬の管理表は必ず2名でダブルチェックをして確認をしている。</p>
---

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	みんなの家・横浜瀬谷
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	1Fはステーション前に提示し、職員が日々の業務の中で実現できる様意識付け、その方にあったケア、安心して安全な環境を日々の生活の中で実績に繋げています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者以下職員は、法人と事業所の理念を常に念頭に置き利用者に寄り添い一人一人を大切にされたケアの実践に努めている。</li> <li>・法人、事業所の理念、年度方針を事務所内に掲示し、職員は利用者本位で安心、安全な生活の支援をしている。</li> </ul>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時の挨拶や、町内会子供神輿の休憩時に駐車場を利用して頂いたり、地域のボランティアの方々を定期的にお招きし、地域とご利用者様との懸け橋となって交流を図っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会に加入して地域のお祭りには子供神輿の休憩所として事業所の駐車場を提供している。</li> <li>・散歩時には職員や利用者から近隣の方に気軽に挨拶を交わしている。</li> <li>・毎月、地域の方によるカラオケを、イベント時にはフラダンス、楽器演奏などでボランティアと交流を図っている。</li> </ul>	周りに民家が少ないため地域との関わりがあまり望めない立地条件がありますが、回覧板を回したり、地域の行事に積極的に参加したり、近くの瀬谷西高校の生徒の福祉体験実習の受け入れなど、事業所からの働きかけが期待されます
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会への加入をしています。運営推進会議の開催を利用して、認知症の方への支援、取り組みなどの情報を発信しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回、2カ月に1回開催しています。事業所での取り組みや状況などを報告し、出席者の方々よりご意見やご要望を伺い、サービス向上に活かしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と地域包括の職員が出席して事業所からの行事や日々の出来事などの報告をし、出席者からの多様な意見や要望を運営に活かしている。</li> <li>・今年度は、運営推進会議の日に夜間を想定した避難訓練をして家族にその様子を見てもらっている。</li> </ul>	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区役所で行われている研修に参加しています。保護を受給されている方に関しては状況に応じて連絡を取り合っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会の役員を管理者が引き受けて瀬谷区の職員と協力している。</li> <li>・利用者に関する手続きなどで瀬谷、南、磯子区の生活支援課の職員と連携している。</li> <li>・瀬谷区役所、消防署主催の研修会に積極的に参加している。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内に身体拘束廃止委員会を設け、毎月1回会議を開催し、身体拘束を行う事の弊害を理解しています。法人内の研修にも参加し伝達しています。玄関は施錠していますが、要望に応じ開場しています。	・運営規定に身体拘束をしない方針を明記している。職員は、毎月「身体拘束ゼロへの手引き」を研修で確認し、行動の制限や大きな声での制限をしないケアを実践している。 ・玄関はバス道路に面しており安全確保のため施錠しているが、各ユニットの出入り口は開錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者を始め全職員が虐待を見逃さない・見逃さないように徹底しています。職員会議でも議題に上げ、話し合いをしています。法人内の研修にも参加し伝達しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	相談があった際にはいつでも対応できる体制をとっています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に基づき、口頭で説明を行っています。改定の都度、ご理解・ご納得を得ています。常に最新の契約書・重要事項説明書を閲覧できる様掲示しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を明確にしています。ご利用者様には日々の生活の中で傾聴する機会を作り記録や申し送り等により職員間で情報の共有をしています。ご家族様には家族会や面会時にご意見を伺っています。また、玄関には御意見箱を設置しています。	・2か月ごとに家族会を開いて意見を聞いている。散歩の機会を増やしてほしいと要望がありケアプランに反映させた事例がある。 ・家族との良好な関係づくりを常に心がけて、小さなことでも意見や要望を聞いたり対応をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や面談、日々の会話等で意見を言い合い、話しやすい環境づくりを心掛けています。意見・提案・要望など検討し反映しています。	・1年に1回の個人面談の他、日常何でも言える相談しやすい環境がある。ユニット会議や全体会議の他に申し送りノート、職員ノートを使って意見や提案をして全員で共有できる仕組みがある。職員からの提案や意見をイベントや外出支援などにつなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の状況を把握し、勤務調整を行ったり、個々の得意分野を見つけだし、得意な事を他の職員に伝達していく事により向上心を持ってもらうように努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修予定が送られてくるので、掲示し、誰でも参加できるようにしています。法人内に問わず自己研鑽の為に外部研修に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の他事業者の管理者との交流の機会を持ち、情報交換をしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の実態調査時にご本人様とゆっくりお話しが出来る時間を作り、不安や心配事、体調等を伺い、安心して頂ける様配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の実態調査時に、ご家族様にお話を伺い、心配なことや不安なこと、困っていること、想いや、願い等をお聞きしています。実態調査後も連絡をいつでも取れるような体制にしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の実態調査票により職員全員が情報を把握し何をひつようとしているかを検討しています。介護計画書にて、情報共有をしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中でご利用者様との関係を大切にし、共に喜び、不安等傾聴し、共感、理解をしています。その方にあった個別支援を行っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会や、季節ごとのレクリエーションなどに参加して頂いています。また、面会や電話などを利用し、ご家族様とお話しする機会を設けご利用者様の情報共有を図っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来て下さった際には、お部屋でゆっくりと過して頂けるよう配慮しています。ご利用者様から希望があった場合には事業所の電話を利用して頂いています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友人の来訪時には居室でゆっくり話ができるように茶などを出して接待している。</li> <li>・職員の支援で手紙や年賀状を出す利用者もいる。</li> <li>・利用者は、パンの移動販売やヤクルトの販売員となじみになり、来訪を心待ちにしている。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の相性を考慮し又孤立しない様、時間の共有を図れる様レクリエーション等を実施し、お互いの生活を支え合える様に支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じた書類や情報を提供し、今までと同様な生活が継続できる様支援しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様より、思いやご希望を日々の生活の中で傾聴しています。伝える事が困難なご利用者様は生活の中で汲み取っています。把握した情報はカンファレンスや、記録等により職員間で共有しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居前の情報や家族の話から利用者の習慣や好きなことを把握している。</li> <li>・発言が困難な方については表情の変化や日々の様子などから思いを汲み取っている。</li> </ul>	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の実態調査時にご利用者様、ご家族様により情報をお聞きし、実態調査表にて職員間の情報共有を行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	健康管理に関する記録により身体状況の把握を行い、生活記録や申し送りにてその他の情報を職員間で共有しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画書作成時には、ご利用者様とご家族様の意向を把握し、アセスメント・カンファレンスを行いその方に沿った介護計画書を作成しています。また、心身の状況変化により介護計画書とその都度変更しています。	・入居時に医療情報を把握し暫定のケアプランを作り1か月後に本プランを作成している。 ・家族、本人、医師のアドバイスを事前に把握し、ケアカンファレンスを毎月開催している。ケアプランに番号を振り生活記録に実施できたことを時系列に記録して次の評価に反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に実績や結果、ご利用者様の状態を記入し、カンファレンスを行い状況の変化に応じて介護計画書の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人内のシニアセラピーやリハビリマッサージ、ホームヘルプサービスの利用等、ご要望があった場合には個別で対応できるようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアや町内会に加入しています。また、ヤクルトやパンの訪問販売や美容室を利用しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に、ご家族様、ご利用者様への説明し納得・同意の上事業所の訪問診療を利用して頂いています。必要に応じて医療機関のご案内もさせて頂いています。	・協力医の内科医と訪問歯科の往診が月2回あり、訪問看護師が週1回健康管理に来ている。皮膚科など入居前のかかりつけ医に家族や職員とともに受診している。職員が付き添うことにより正確な医療情報を取得し、家族に情報提供をしている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の医療連携体制看護職員の訪問により、健康管理及び相談等が行われています。また、記録も使用し連携を図っています。必要に応じて訪問看護への利用を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院の方にサマリー等を使用し情報提供を行っています。面会時に入院中のご様子を把握し、ご家族様とも連携を取り合い早期退院出来るように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に「重度化した場合の対応に関わる方針」を説明し、その都度状況に合せ必要に応じた対応をしています。重度化した場合にはご利用者様、ご家族様、医師、看護師、職員が連携し、方針を共有し支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師、看護師、事業所が連携し、医療対応をしている。</li> <li>・事業所で医師、看護師による勉強会を開催し、職員は経験や研修を通して利用者が最後までその人らしく人生を全うできるように寄り添っている。</li> </ul>	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署による心肺蘇生等の研修を受けています。マニュアルもあり、職員に周知徹底しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員に避難場所を周知し、近隣職員への協力を仰いでいます。また消防署の指導のもと夜間想定避難訓練を実施しています。備蓄を保管しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の避難訓練を行い、うち1回は消防署員立ち合いで利用者も参加して夜間想定訓練をしている。</li> <li>・管理者は消防署主催の高齢者施設に向けた避難訓練に参加している。</li> <li>・災害用備蓄は水、食料など3日分を用意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署のアドバイスを受け地域の消防団への加入を検討しており、その実現が期待されます。</li> <li>・備蓄のチェックリストの作成や保温シート、簡易トイレ、熱源などの備品の充実が望まれます。</li> </ul>

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様のプライバシーに配慮し、その高に合せた声かけや対応を行っています。職員会議等で接遇の話しを行い、確認を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は入職時に守秘義務に関する誓約書を提出している。</li> <li>・日頃よりプライバシーを損ねることのないように丁寧で親切な言葉かけを心掛けている。</li> <li>・個人情報を含む書類は、施錠できる書庫に保管している。</li> </ul>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、選択・決定が出来る場面を作っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のお気持ちや、体調を配慮し、その方にあったペースで過して頂ける様支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で洋服を選んだり、起床時髪をセットしています。また、外出時に化粧品や衣類を購入したり、訪問販売で、衣類を選びながら購入しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の状態により出来る範囲で手伝って頂いています。行事に合せた食事の提供や重箱を利用し目で楽しむ工夫もしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・献立と調理は外部業者に依頼して美味しい食事を提供している。</li> <li>・利用者は職員と一緒にテーブル拭き、食器拭きを行っている。</li> <li>・職員は食事介助をしながら利用者と一緒に食事をしている。</li> <li>・年1回は外食に行き、誕生会は手作りのケーキで祝っている。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量・食事形態・好み等の把握を行っています。その方の状態状況に合せ、食器やコップ等を変更し対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後行っています。歯科衛生士が週一回構内の状態観察を行い、職員に指導し、実施しています。必要に応じ歯科医師が診察・治療を行います。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表で排泄・排便のリズムを把握し、ご利用者様のお気持ちを配慮しながら声かけ、排泄誘導、自立支援を行っています。立位が困難な方でも安全にトイレに行けるよう、職員2名体制で支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄チェック表により、パターンの把握に努め、トイレ誘導をしている。</li> <li>・利用者が立ち上がるなど落ち着きなくなる仕草から排泄を察知して声をかけ、自立支援に努めている。</li> <li>・入居時はリハビリパンツを使用していたが、その後布パンツに改善した利用者がある。</li> </ul>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表により排便の確認を行っています。また、日々の体操を行う事で身体を動かして頂き、水分を多く取って頂くよう心掛け自然排便を促す取り組みを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	いつでも入浴が出来るようになっていきます。入浴を好まないご利用者様に対しては日時や声かけを工夫し誘導しています。体調が一番に考え身体状態に合せた入浴の支援をしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週2回の入浴を基本にしている。夏場は清拭を希望する利用者がある。</li> <li>・入浴をしたがらない利用者には、声かけのタイミングや職員を変えるなど工夫をしている。</li> <li>・季節が感じられる菖蒲湯やゆず湯を楽しんでいる。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活のリズムを把握し、無理なくご自由に休んで頂くようお声かけをしています。居室においてはお一人お一人に合せた温度や照明調整を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方ので度薬剤師が薬を持参し、用法・用量についての説明を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中で好きな事を把握しレクリエーションとして楽しんで頂いています。また、季節ごとの行事も行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調に配慮し、近所にお散歩、ご意向を伺い、買い物をする機会を設けています。また、ベランダや駐車場で外気浴を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気が良い日には、車いすの方も事業所の周りや近くの団地の花壇を見に出掛けている。畠の四季折々の農作物を見ながら散歩をしている。</li> <li>・ベランダや駐車場で外気浴を楽しみ、職員と一緒に買い物をする利用者もいる。</li> </ul>	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自動販売機でのジュース購入や訪問販売の洋服・パン・ヤクルトは職員が付き添いお好みの物を購入して頂けるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望によりいつでも電話のやり取りが出来るようになっています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	美日掃除を行い清潔を保ち、温度・湿度・照明・換気を行っています。また季節を感じて頂けるように、季節に合せたレイアウトをご利用者様と一緒に作成しています。	・リビングは明るく清潔に保たれ、換気や温・湿度にも配慮している。また、衛生面に配慮し、毎朝・夕に清掃している。 ・正月の凧、ひな祭り、七夕祭り、クリスマスツリーなどを飾り、季節感を採り入れている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事やお茶の時間以外はお好きな場所で過ごして頂いています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前と生活環境が変わらない様、入居時に使い慣れた品や思い出のある物等を持ってきて頂いたり、写真や作品を飾り、居心地良く過ごして頂ける様工夫をしています。	・居室にエアコン、クローゼット、洗面台、防災カーテン、整理ダンスを備え付けてある。 ・利用者は使い慣れたいす、テーブル、テレビなどを置き、仏壇や家族の写真を飾り、居心地よく安心して過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	文字による場所の表示や居室入口への名札や目印、椅子カバーなどで工夫しています。		

事業所名	みんなの家・横浜瀬谷
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	2Fはステーションに提示し、職員が日々の業務の中で実現できる様意識付け、その方にあったケア、安心して安全な環境を日々の生活の中で実績に繋げています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時の挨拶や、町内会子供神輿の休憩時に駐車場を利用して頂いたり、地域のボランティアの方々を定期的にお招きし、地域とご利用者様との懸け橋となって交流を図っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会への加入をしています。運営推進会議の開催を利用して、認知症の方への支援、取り組みなどの情報を発信しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回、2カ月に1回開催しています。事業所での取組みや状況などを報告し、出席者の方々よりご意見やご要望を伺い、サービス向上に活かしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区役所で行われている研修に参加しています。保護を受給されている方に関しては状況に応じて連絡を取り合っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内に身体拘束廃止委員会を設け、毎月1回会議を開催し、身体拘束を行う事の弊害を理解しています。法人内の研修にも参加し伝達しています。玄関は施錠していますが、要望に応じ開場しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者を始め全職員が虐待を見逃さない・見逃さないように徹底しています。職員会議でも議題に上げ、話し合いをしています。法人内の研修にも参加し伝達しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	相談があった際にはいつでも対応できる体制をとっています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に基づき、口頭で説明を行っています。改定の都度、ご理解・ご納得を得ています。常に最新の契約書・重要事項説明書を閲覧できる様掲示しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を明確にしています。ご利用者様には日々の生活の中で傾聴する機会を作り記録や申し送り等により職員間で情報の共有をしています。ご家族様には家族会や面会時にご意見を伺っています。また、玄関には御意見箱を設置しています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や面談、日々の会話等で意見を言い合い、話しやすい環境づくりを心掛けています。意見・提案・要望など検討し反映しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の状況を把握し、勤務調整を行ったり、個々の得意分野を見つけだし、得意な事を他の職員に伝達していく事により向上心を持ってもらうように努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修予定が送られてくるので、掲示し、誰でも参加できるようにしています。法人内に問わず自己研鑽の為に外部研修に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の他事業者の管理者との交流の機会を持ち、情報交換をしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の実態調査時にご本人様とゆっくりお話しが出来る時間を作り、不安や心配事、体調等を伺い、安心して頂ける様配慮しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の実態調査時に、ご家族様にお話しを伺い、心配なことや不安なこと、困っていること、想いや、願い等をお聞きしています。実態調査後も連絡をいつでも取れるような体制にしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の実態調査票により職員全員が情報を把握し何をひつようとしているかを検討しています。介護計画書にて、情報共有をしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中でご利用者様との関係を大切にし、共に喜び、不安等傾聴し、共感、理解をしています。その方にあった個別支援を行っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会や、季節ごとのレクリエーションなどに参加して頂いています。また、面会や電話などを利用し、ご家族様とお話しする機会を設けご利用者様の情報共有を図っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来て下さった際には、お部屋でゆっくりと過して頂けるよう配慮しています。ご利用者様から希望があった場合には事業所の電話を利用して頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の相性を考慮し又孤立しない様、時間の共有を図れる様レクリエーション等を実施し、お互いの生活を支え合える様に支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じた書類や情報を提供し、今までと同様な生活が継続できる様支援しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様より、思いやご希望を日々の生活の中で傾聴しています。伝える事が困難なご利用者様は生活の中で汲み取っています。把握した情報はカンファレンスや、記録等により職員間で共有しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の実態調査時にご利用者様、ご家族様により情報をお聞きし、実態調査表にて職員間の情報共有を行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	健康管理に関する記録により身体状況の把握を行い、生活記録や申し送りにてその他の情報を職員間で共有しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画書作成時には、ご利用者様とご家族様の意向を把握し、アセスメント・カンファレンスを行いその方に沿った介護計画書を作成しています。また、心身の状況変化により介護計画書をその都度変更しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に実績や結果、ご利用者様の状態を記入し、カンファレンスを行い状況の変化に応じて介護計画書の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人内のシニアセラピーやリハビリマッサージ、ホームヘルプサービスの利用等、ご要望があった場合には個別で対応できるようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアや町内会に加入しています。また、ヤクルトやパンの訪問販売や美容室を利用しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に、ご家族様、ご利用者様への説明し納得・同意の上事業所の訪問診療を利用して頂いています。必要に応じて医療機関のご案内もさせて頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の医療連携体制看護職員の訪問により、健康管理及び相談等が行われています。また、記録も使用し連携を図っています。必要に応じて訪問看護への利用を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院の方にサマリー等を使用し情報提供を行っています。面会時に入院中のご様子を把握し、ご家族様とも連携を取り合い早期退院出来るように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に「重度化した場合の対応に関わる方針」を説明し、その都度状況に合せ必要に応じた対応をしています。重度化した場合にはご利用者様、ご家族様、医師、看護師、職員が連携し、方針を共有し支援しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署による心肺蘇生等の研修を受けています。マニュアルもあり、職員に周知徹底しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員に避難場所を周知し、近隣職員への協力を仰いでいます。また消防署の指導のもと夜間想定避難訓練を実施しています。備蓄を保管しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者のプライバシーに配慮し、その高に合せた声かけや対応を行っています。職員会議等で接遇の話しを行い、確認を行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、選択・決定が出来る場面を作っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のお気持ちや、体調を配慮し、その方にあったペースで過して頂ける様支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で洋服を選んだり、起床時髪をセットしています。また、外出時に化粧品や衣類を購入したり、訪問販売で、衣類を選びながら購入しています。マニキュアは色を選び職員が塗っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の状態により出来る範囲で手伝って頂いています。行事に合せた食事の提供や重箱を利用し目で楽しむ工夫もしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量・食事形態・好み等の把握を行っています。その方の状態状況に合せ、食器やコップ等を変更し対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後行っています。歯科衛生士が週一回構内の状態観察を行い、職員に指導し、実施しています。必要に応じ歯科医師が診察・治療を行います。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表で排泄・排便のリズムを把握し、ご利用者様のお気持ちを配慮しながら声かけ、排泄誘導、自立支援を行っています。立位が困難な方でも安全にトイレに行けるよう、職員2名体制で支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表により排便の確認を行っています。また、日々の体操を行う事で身体を動かして頂き、水分を多く取って頂くよう心掛け自然排便を促す取り組みを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	いつでも入浴が出来るようになっていきます。入浴を好まないご利用者様に対しては日時や声かけを工夫し誘導しています。体調を一番に考え身体状態に合せた入浴の支援をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活のリズムを把握し、無理なくご自由に休んで頂くようお声かけをしています。居室においてはお一人お一人に合せた温度や照明調整を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方ので度薬剤師が薬を持参し、用法・用量についての説明を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中で好きな事を把握しレクリエーションとして楽しんで頂いています。また、季節ごとの行事も行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調に配慮し、近所にお散歩、ご意向を伺い、買い物をする機会を設けています。また、ベランダや駐車場で外気浴を行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自動販売機でのジュース購入や訪問販売の洋服・パン・ヤクルトは職員が付き添いお好みの物を購入して頂けるよう支援しています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望によりいつでも電話のやり取りが出来るようになっています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	美日掃除を行い清潔を保ち、温度・湿度・照明・換気を行っています。また季節を感じて頂けるように、季節に合せたレイアウトをご利用者様と一緒に作成しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事やお茶の時間以外はお好きな場所で過ごして頂いています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前と生活環境が変わらない様、入居時に使い慣れた品や思い出のある物等を持ってきて頂いたり、写真や作品を飾り、居心地良く過ごして頂ける様工夫をしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	文字による場所の表示や居室入口への名札や目印、椅子カバーなどで工夫しています。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名 みんなの家・横浜瀬谷

作成日 平成27年11月21日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域の付き合いが少ない。	地域のイベントに参加	自治会長に回覧板を要望し、地域の行事に積極的に参加する。	6か月～1年
2	13	備蓄品の充実	食料品のみでなく、簡易トイレや熱源などの確保	毎月、少量ずつ購入し、チェックリストの作成を行う。	1年
3					
4					
5					